

基本計画策定に向けた区民等の意見聴取について

1 令和 8 年度のワークショップ等について

(1) 区民向け周知について

新庁舎に関する検討状況の区民向け周知として、令和 8 年 3 月 2 4 日～4 月 3 日に実施した庁舎 2 階区民ホールと同様のパネル展示を、区内各施設にて行う。展示施設及び展示日程は下表の通り。

展示施設	展示日程
豊洲文化センター	6 月 2 6 日 (金) ～ 7 月 3 日 (金)
江東図書館	7 月 6 日 (月) ～ 7 月 1 6 日 (木)
亀戸文化センター	7 月 1 7 日 (金) ～ 7 月 2 3 日 (木)

【パネルイメージ】

新庁舎、どこまで進んでる？



～「江東区新庁舎建設基本構想（令和 7 年 3 月策定）」の中身～

どうして建て替える？

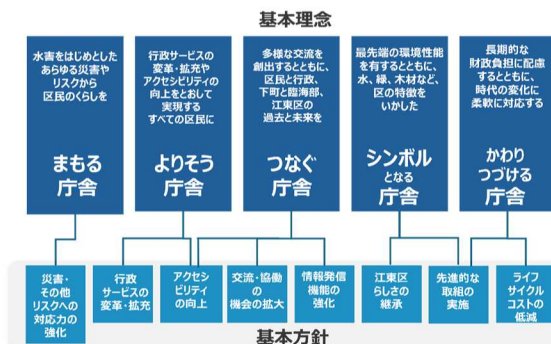
第 2 章 本庁舎の現状と課題の整理 新庁舎整備の必要性

- 築 50 年以上たち、物理的、機能的劣化が進んでいます。
- 耐震性の向上、浸水リスクへの対応、狭路の解消等様々な面で改善が必要です。
→ 改修等で対応できないものも多いため新たな庁舎の整備が必要です。

どんな新しい庁舎を建てようとしている？

第 4 章 新庁舎の基本理念・方針

- 区民のみならず区職員からの意見やアイデア、そして「江東区らしさ」を踏まえ新庁舎で実現する 5 つの **基本理念** と 8 つの **基本方針** を定めました。



どこに建てる？

第 5 章 建設候補地

- 都市計画マスタープランの都市核の中から望ましいエリアを選び、その区有地の候補地からアクセス、防災、まちづくり、建築計画、スケジュールなどを比較しました。
- 現位置で建設を行います。
(文化センターとの一体的な整備を前提として進めます。)



どんな機能がある？いくらくらいかかる？

第 6 章 施設整備方針

- 基本構想時点の延べ床面積は 約 40,000㎡ (総務省基準、事例を参考) としました。
- 新庁舎と防災センターに加え、文化センターとの一体的な整備を前提として進めます。
- 保健所等の公共施設の集約化などについても今後、検討します。

● 新庁舎に導入する機能

基幹機能	防災・災害対策	区民サービス	行政・議会
設備・まちづくり機能	区民協働等	まちづくり	複合化機能
共通機能	DX	アクセシビリティ	環境・サステナビリティ

● 概算事業費（基本構想時点）

区分	金額
新庁舎 新築・解体工事、仮庁舎建設費	約 440 億円
設計監理費	約 25 億円
移転・備品費	約 25 億円
小計	約 490 億円
文化センター 新築工事	約 200 億円
総計	約 690 億円

いつ完成する？

第 8 章 今後の予定

- 本構想をもとに、令和 7 ～ 1 0 年度に基本計画を策定します。
- 現庁舎の築 6 0 年～6 5 年をめどに整備を進めていきます。



昔の江東区役所

約50年前
建設当時（昭和48年）の様子



まもる庁舎の検討状況



～水害をはじめとしたあらゆる災害やリスクから区民のくらしをまもる庁舎～

キーワード
安全・安心

防災性にすぐれた庁舎
避難できる広い場所

江東区らしさ

水害等の災害への備えが
必要なまち

水害をはじめとしたあらゆる災害や
リスクから区民のくらしを

まもる庁舎

【防災】 災害対策本部の機能を確実に実行 ライフライン途絶時にも機能発揮する十分なバックアップ

①災害対策本部の機能強化、災害時対応業務との連携強化

- リアルタイムでの災害情報収集、本部室の設備、空間の充実
- 首脳部執務室と対策本部を近接配置
- その他の本部の位置、連携強化
- 関係機関との連携強化や給室の充実
- 職員用備蓄の確保 など

■イメージ 出典：江戸川区新庁舎基本設計

②災害時の迅速な機能転換、臨時業務の対応

- 会議室等を災害時に活用でき可変性のある空間
- 災害時に庁舎全体が災害対応にシフトできるよう全庁的な機能転換図を計画
- 臨時対応や応援など非常時の活動の受け皿となる半屋外広場やホールの整備
- 防災拠点の補完機能として新文化センターのありかた など

■イメージ 出典：江東区新庁舎整備推進計画

③将来の災害に対する建物・敷地の防災性

- 地震対策、人命確保に加え機能継続性を確保した性能
- 浸水対策（浸水対応拠点建築物）
- 感染症対策
- 敷地の防災性 など

■イメージ 出典：江戸川区新庁舎基本設計

④本部業務や事業継続のためエネルギー等のバックアップ強化

- 電力の多重化（長期間の自立運用と再生可能エネルギー活用）
- 電力バックアップ期間（7日程度）
- 飲用水、雑用水を確保（7日程度）
- 下水の確保（7日程度）
- 通信、庁内LAN環境の冗長性確保
- 代替施設の想定 など

■イメージ 出典：川崎市総合庁舎パンフレット

【耐震性能】 庁舎の機能維持や災害時の拠点としての活動を確保する高い耐震性能

①将来の災害に対する建物の安全性向上

- 地震等の災害時に構造体の損傷を最小限に安全性を確保する
- 将来の災害に備え長期にわたり安全性を確保する
- 地震時の人命確保に加え機能継続性を確保した耐震性能
- 長期の使用を見据えた建物など

■イメージ 出典：江戸川区新庁舎基本設計

②機能維持のため非構造部材や建築設備の耐震性確保

- 人命確保だけでなく、庁舎の機能継続に不可欠な内部部材や設備の被害を防止
- 天井等吊りものの部材の耐震性、設備機器の耐震対策
- サーバー室、情報インフラの耐震対策 など

■イメージ 出典：国土交通省「災害に強い首都「東京」形成ビジョン」

③敷地の安全性向上

- 建物だけでなく避難、緊急輸送アクセス、屋外活動など敷地全体で災害時の対応力を強化する
- 敷地の液状化対策
- 敷地の浸水対策
- 敷地周辺の延焼防止 など

■イメージ 出典：国土交通省「防災拠点等となる建築物の機能維持に係る事例集」

2

 トーキョーの、東。ちよっと東。
 すごく今。

キーワード

利便性・業務効率性

DXによって確保した職員リソースをもとにした行政サービスの拡充

職員が働きやすい 相談・手続きがしやすい

交通結節点となる 庁舎機能の分散

明るい区役所 デジタル化の推進

行かない・書かない・待たない庁舎

アクセシビリティ

あらゆる人にとって快適な窓口

多言語対応・障害者対応の充実

気軽に来られる親しい場所 気軽に直接相談できる場

目の見えない人でも体感できるアート

バリアフリーに配慮する 多様な文化を受け入れる

新庁舎を待たずに進めていく「江東区DX推進計画」や窓口の検討を新庁舎の計画へ適宜、反映していきます。



江都区DX推進計画

江都
情報戦略

3つの視点から見る Smart KOTO の役割

デジタル技術を活用して業務効率を高め、デジタル技術の活用によって、顧客のニーズに応える。デジタル技術の活用によって、顧客のニーズに応える。デジタル技術の活用によって、顧客のニーズに応える。

① 見逃さない
② 見逃さない
③ 見逃さない

④ 見逃さない
⑤ 見逃さない
⑥ 見逃さない

⑦ 見逃さない
⑧ 見逃さない
⑨ 見逃さない

⑩ 見逃さない
⑪ 見逃さない
⑫ 見逃さない

⑬ 見逃さない
⑭ 見逃さない
⑮ 見逃さない

⑯ 見逃さない
⑰ 見逃さない
⑱ 見逃さない

⑲ 見逃さない
⑳ 見逃さない
㉑ 見逃さない

⑳ 見逃さない
㉒ 見逃さない
㉓ 見逃さない

㉔ 見逃さない
㉕ 見逃さない
㉖ 見逃さない

㉗ 見逃さない
㉘ 見逃さない
㉙ 見逃さない

㉚ 見逃さない
㉛ 見逃さない
㉜ 見逃さない

㉝ 見逃さない
㉞ 見逃さない
㉟ 見逃さない

㊱ 見逃さない
㊲ 見逃さない
㊳ 見逃さない

㊴ 見逃さない
㊵ 見逃さない
㊶ 見逃さない

㊷ 見逃さない
㊸ 見逃さない
㊹ 見逃さない

㊺ 見逃さない
㊻ 見逃さない
㊼ 見逃さない

㊽ 見逃さない
㊾ 見逃さない
㊿ 見逃さない

取組1 窓口改革の推進

デジタル技術を活用して、窓口の業務の効率を向上するとともに、事務処理の効率化を進め、いつでもどこでも簡単に手続きや相談ができるよう、「誰がなんでも」[知らない]「迷わない」[わからない]、そのためのモードを実現します。

【知らない】 デジタル技術を活用して、窓口の業務の効率を向上するとともに、事務処理の効率化を進め、いつでもどこでも簡単に手続きや相談ができるよう、「誰がなんでも」[知らない]「迷わない」[わからない]、そのためのモードを実現します。	【待たない】 デジタル技術を活用して、窓口の業務の効率を向上するとともに、事務処理の効率化を進め、いつでもどこでも簡単に手続きや相談ができるよう、「誰がなんでも」[知らない]「迷わない」[わからない]、そのためのモードを実現します。
【迷わない】 デジタル技術を活用して、窓口の業務の効率を向上するとともに、事務処理の効率化を進め、いつでもどこでも簡単に手続きや相談ができるよう、「誰がなんでも」[知らない]「迷わない」[わからない]、そのためのモードを実現します。	【行かない】 デジタル技術を活用して、窓口の業務の効率を向上するとともに、事務処理の効率化を進め、いつでもどこでも簡単に手続きや相談ができるよう、「誰がなんでも」[知らない]「迷わない」[わからない]、そのためのモードを実現します。

取組22 新庁舎に向けた検討

本館の有利性を高めることと、新庁舎におけるデジタル技術を活用した、働き方改革による本館の働きかたの刷新に向けた検討を進めます。

【職員サービスの充実と見直し】
本館に勤務の職員に対して、デジタル技術を活用して、窓口の業務の効率を向上するとともに、事務処理の効率化を進め、いつでもどこでも簡単に手続きや相談ができるよう、「誰がなんでも」[知らない]「迷わない」[わからない]、そのためのモードを実現します。

【多様な働き方への対応】
本館に勤務の職員に対して、デジタル技術を活用して、窓口の業務の効率を向上するとともに、事務処理の効率化を進め、いつでもどこでも簡単に手続きや相談ができるよう、「誰がなんでも」[知らない]「迷わない」[わからない]、そのためのモードを実現します。

【新たな働き方への対応】
本館に勤務の職員に対して、デジタル技術を活用して、窓口の業務の効率を向上するとともに、事務処理の効率化を進め、いつでもどこでも簡単に手続きや相談ができるよう、「誰がなんでも」[知らない]「迷わない」[わからない]、そのためのモードを実現します。

① 誰もが移動・利用しやすい物理的な環境整備

- ・快適かつ安全に移動・利用できる空間整備
- ・多様な利用者を想定した空間整備
- ・アプローチ等外部空間の整備 など

■ イメージ 出典：事例館ホームページ

③ 計画段階から利用者目線を反映

- ・障害当事者や高齢者など利用者目線の意見反映
- ・職員のアクセシビリティ意識向上 など

[illegible]

 トーキョーの、東。ちよっと東。
 すごく今。

キーワード

交流・まちづくり

関連する団体で連携しやすい
多様な機能との複合化
区民や職員が好きなことになる区役所
区民の「やりたい！」を応援する
様々な人と交流できる場所
区民、団体、企業、職員の多様な交流を生む場所
新庁舎と周辺のまちが一体的に発展
区民体験（行政とのふれあい）
朝や夜に色々な使い方ができる
人と人のつながりをつくる
ハブ・コーディネーター機能を果たす
行きたくある、居場所となる
区民、商業、文化、行政の交流
行政の考えを体感できる場
働くことを誇りに思える区役所
人が集まる

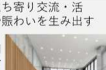
区民の憩いや交流、活動を支える場
区民の活動や区の魅力、PRを行う情報発信の拠点
「江東区らしさ」である水やみどりが豊かな空間の創出

① **交流空間**

あらゆる世代や多様な区民が日常的に立ち寄り交流・活動ができるまちに開かれ、新しい交流や賑わいを生み出す

- ・区民が憩い、まちに開かれ自由に利用できる屋内外の広場空間の整備を検討
- ・区イベントや区民の活動のため、多用途に利用できる室、スペースを検討(複読の室、スペースを想定)
- ・来庁時の待ち合いやまちの賑わいなどより豊かに過ごすための空間整備など

■イメージ 出典：19年野区ホームページ



②情報発信スペース

区政情報や区民活動など区全体の魅力発信の場
多様な人々に向けた新たな情報発信拠点

- ・新しいこうとう情報ステーションの
あり方
- ・区民の情報発信、区の魅力発信
- ・各課情報発信の再構成
- ・庁舎全体の情報発信の場の再構成など



■イメージ 出典：田原区ホームページ

基本構想に掲げる基本理念等の実現に向けて、施設の老朽化状況、稼働状況、今後の区民ニーズ等を踏まえつつ、集約化が可能な規模や有効性等を検討した結果、次の4施設を検討対象施設に絞りこみました。

- 検討対象施設
①江東区保健所
②東陽図書館
③東陽子ども家庭支援センター
④教育支援課



シンボルとなる庁舎の検討状況

～最先端の環境性能を有するとともに、水、緑、木材など、区の特徴をいかしたシンボルとなる庁舎～

キーワード

環境
緑や水との親和性
環境に配慮する
木材等の活用

江東区らしさ

木材とのかかわりが深いまち
公園が多い、空が広いまち
自然が身近なまち（水・緑）

最先端の環境性能を有すると共に
水、緑、木材など、
区の特徴をいかした

シンボルとなる庁舎

【環境】 区のゼロカーボンを先導する高い環境性能

①省エネルギー性能の高い庁舎

庁舎整備を契機として区のゼロカーボン達成に寄与

- ・ ZEBready以上の環境性能
- ・ エネルギーの見える化による効率的な運用
- ・ 断熱性、気密性の向上、日射遮蔽による熱負荷低減
- ・ 自然通風、自然採光等の機械的的手法によらない省エネ手段を組み合わせて導入 など

■イメージ 出典：渋谷区新庁舎2019.11期庁舎整備計画Ver.1

②再生可能エネルギーの積極的活用

- ・ 自立的かつ持続可能なエネルギーを確保する
- ・ 太陽光発電設備その他の再生可能エネルギーの導入検討
- ・ 環境配慮エネルギーの調達
- ・ エネルギーの二次利用、面的利用の可能性検討 など

■イメージ 出典：国分寺市新庁舎建設事業 市東証

③「みどりの中の都市」を体現する庁舎の緑地環境

- ・ みどりの中の都市（CIG）を実現。区民が水やみどりの空間に親しむことができる庁舎周辺環境
- ・ 建物上緑化
- ・ 敷地の緑化 など

■イメージ 出典：江戸川区新庁舎基本設計方針

④区民の親しむ場所に木材利用を推進

木材利用推進による炭素固定等の環境貢献木のぬくもりで区民の親しむ場所をより豊かにする

- ・ メリハリのある木質化
- ・ 木材利用の普及促進策 など

■イメージ 出典：国分寺市新庁舎建設事業 市東証

かわりつづける庁舎の検討状況

～長期的な財政負担に配慮するとともに、時代の変化に柔軟に対応するかわりつづける庁舎～

キーワード

コスト
ローコスト・ライフサイクルコスト最適化
コンパクトな庁舎
収益をうつ

江東区らしさ

変化し続けているまち

長期的な財政負担に
配慮するとともに、
時代の変化に柔軟に対応する

かわりつづける庁舎

ライフサイクルコストの低減など

- ・ ライフサイクルコストの低減に資する工法及び事業手法の採用
- ・ 社会環境の変化に対応した可変性を有する空間の整備
- ・ 余剰地・余剰容積を活用した収益確保方策の検討 など

建設等基金

- ・ 新庁舎建設等に係る計画的な財源確保のため、令和7年度から基金を設置。（年35億円）

「基本計画」策定の参考とするために区民ワークショップを開催しました。

- 過ごしやすい、行ってみたい、親しみやすい庁舎において、「できること・活動」「必要な空間」を考えることをテーマとしてワークショップを実施しました

テーマ	未来の区役所の「場」と「活動」を考えよう！
実施日時	2025年12月20日（土） 14：00～16：00
実施場所	江東区文化センター
参加者数	19名
議論のポイント	過ごしやすい、行ってみたい庁舎で「やりた いこと」「活動」／そのために必要な空間

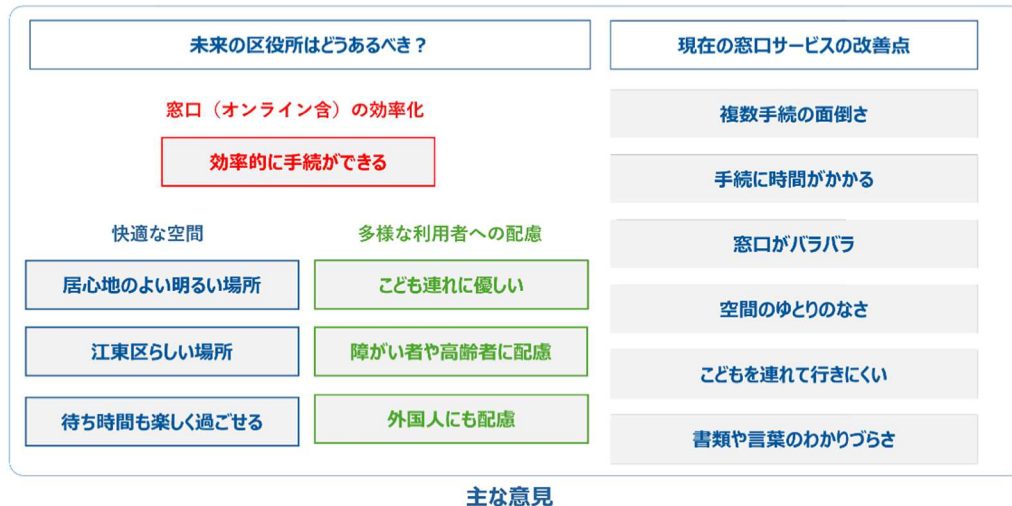
期待する過ごし方、活動		空間の工夫
いつも誰かがいる	区の魅力や歴史とつながれる	賑やかと静かさが共存できる空間づくり
子どもを連れて行きたい	賑わいづくりに区民が参加できる	まちなか施設が連続
人と交流しつながれる	ビジネスが生まれる場所	多様な活用ができる空間
賑わいがある	思い思いにくつろげる	デザイン性のある空間
楽しいことが常に起きている	遊ぶ・学べる	思わず入りたくなる
政策や議会とつながれる	水と緑を感じられる	開放感

主な意見

区内在住・在学の小中学生を対象とした子どもワークショップを開催しました。

- こどもの部では、区役所の窓口サービスを体験したうえで良いところや改善点、未来の区役所はどうありたいかを話し合いました。

テーマ	区役所のサービスを体験してみよう！
実施日時	2025年12月20日（土）10：00～12：00
実施場所	江東区文化センター
参加者数	12名（小学生8名、中学生4名）
議論のポイント	窓口サービスの良いところ・改善点／未来の区役所



（２）ワークショップについて

令和７年度に引き続き、幅広い世代の区民の意見を伺い、基本計画の参考とするため、ワークショップを開催する。開催概要は下記の通り。

【ワークショップ開催概要（予定）】

- ① こどもワークショップ：８月１日（土）午前
 - ② 区民ワークショップ：８月５日（水）夜間
- 会場：① 江東区役所
② 文化センター

（３）その他の取組

- ・区民まつりにおいて、検討状況の周知を行う予定
- ・新庁舎建設に関する当事者意見の聴取を行う予定（障害者、外国人等）